

情報と  
お知らせ

温もりを届けたい、手からこころへ.....

# たまちゃん通信

日本のお手玉の会本部  
〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10番1号  
TEL0897-32-3020 FAX0897-32-0311



FAXで送られてきた情報です。ご紹介します。



高知県須崎支部  
「かわそお手玉の会」  
会長  
尾崎正乃さんより

一針に復興への思いをこめて  
須崎の女性らがお手玉を贈る

1000個のお手玉を届けようの活動が話題になり、朝日新聞に記事として取り上げていただきました。  
遅くなりましたが掲載されました記事をそのままご紹介いたします。

**お手玉作りご協力をお願い**  
温もりを1針1針に心を込めて！東日本大震災地へ1,000個のお手玉を届けよう！

初夏の候、ますますご清祥のことと存じます。  
さて、未曾有の被害をもたらした東日本大震災から3ヶ月あまり経過しましたが、復旧にはまだまだ遠いようで、被災された方の事を思うと、私たちも心を痛めているところ。この間「何かお役に立ちたい」「私達に何か出来る事はないか」と悩まされていましたところ、お手玉の材料を提供していただけるお話が、早速検討を行い、被災地へ、1,000個のお手玉を届けることとなりました。  
つきましては、下の日程にてお手玉の作業を行うこととしました。  
被災された皆さんの1日でも早い復興願って1針1針、心を込めて作業し手から手へ温もり届けたいと思っております。多くの方のご参加と、ご協力をよろしくお願い致します。

日 時 平成 23 年 7 月 16 日 (土) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分まで  
場 所 須崎市民文化会館大会議室  
内 容 \*お色合わせ \*ミシンかけ又は手縫い  
\*中身ペレット盛り(40g)  
\*中身入れ、復始末、出来上がり  
\*縫える方は出来るだけ多くのご参加をお願いします

\* 東日本大震災「応援メッセージ」受付  
\* 当日震災義援金の受け付けもしています

主 催 国際ソロプチミスト須崎・かわそお手玉の会  
後 援 須崎市教育委員会・三本和と仲良しグループ・須崎市民生児童委員  
須崎婦人会・須崎地区更生保護女性会・センターママ・高知3大学有志  
\* 問い合わせ 国際ソロプチミスト須崎事務局 (0899-42-0051 尾崎)

こちらの活動が新聞で紹介されました。

## 高知新聞に記事として

【須崎】東日本大震災の被災者を励まそうと、須崎市の有志が16日、市民文化会館（同市新町2丁目）で被災地に贈るお手玉を作った。国際ソロプチミスト須崎（市川和子会長）が「東北のために何かしたい」と企画。同市でお手玉を伝える活動をしている「かわそお手玉の会」も協力した。この日は市民有志や高知大学の学生ら約70人が集まって製作。布の裁断やプラスチック玉の計量などを行い、丁寧に縫い上げていた。

## 7月20日 朝日新聞掲載記事

「東日本大震災被災地に千個のお手玉を届けよう」と須崎市の「かわそお手玉の会」などが呼びかけ、同市立市民文化会館で16日約50人の女性らが一針一針に心を込めてお手玉を縫った。

同会の尾崎正乃会長は「1日でも早く復興するために、お手玉が心のよりどころになってほしい」と話した。福島県内のお手玉愛好者を通じて被災地の希望者に届ける。



## 「のぼり」の旗 見事に完成です。

私たち「和歌山のお手玉の会」は手作りでの「のぼり」を完成いたしました。  
「のぼり」の下地色は、元氣の赤を基本色としました。  
オリジナルですから、ちょっと自慢ができるかな。大切に使うって児童・高齢者福祉施設などへの福祉活動には、かならず持参して、お手玉が心と健康や、そして明るい笑顔が生まれ魔法の力と、人と人の絆を育んでくれる魅力を信じて支部会員とともに、お手玉の伝承文化を守ってまいります。また、全国のお手玉の支部会員さんとの再会を楽しみに頑張っております。



会のみんなのアイデアで作ったシンボル旗です。



「のぼり」を製作された田淵さんに苦勞話を語っていただきました。